

第30回大阪府公立学校事務研究大会

オンライン開催！！

第30回大阪府公立学校事務研究大会につきまして、当初、集合開催をめざし準備してまいりましたが、情勢を鑑みオンラインでの開催に変更いたしました。その収録を11月12日（金）にドーンセンターにて行いましたので、その様子をお伝えいたします。なお、配信期間は1月6日（木）までとなっておりますので、申し込みをされた方はぜひお忘れなきようご覧ください。



①会長あいさつ

大阪府公立学校事務研究会会長 宮崎利靖

共同実施や共同学校事務室による学校事務の組織化は、新型コロナウイルス感染症などの危機的な状況への対応や、予測不能で変化の激しい社会の中で、学校事務職員が主体的に校務運営を担い「事務をつかさどる」ためにも重要となってくると考えます。



②研究発表

「共同実施の機能について」
～アンケート分析から見えた大阪の
学校事務と共同実施（中間報告）～

大阪府公立学校事務研究会 研究部

1. 学校事務職員の職務についてのアンケート



研究部では、トータルプロデューサーとしての学校事務職員を組織的に展開するためには、共同実施組織にどのような機能が必要であるかを具体的に検討し、研究を進めています。

その材料とすべく2019年9月に学校事務職員の職務状況や、共同実施の現状について、府内の市町村の学校事務職員にアンケートを行いました。

アンケートをもとに、学校事務職員の職務にまつわる課題として「標準化」「業務負担」「人材育成」「役割・権限」の4観点で分析を進めています。

今回の報告は、その分析結果の中間報告とし、アンケート結果の概要を報告しました。

また、研究部内で議論が深まった「学校事務職員の専門性」について、専門性発揮意識の有無や、学校事務職員は何によって専門性があると認識するのか、学校事務職員が専門性を発揮していると感じるための条件はどのようなものか等、分析結果も報告しました。

←研究部・緊張の収録風景



③研究発表 パネルディスカッション
「共同学校事務室・共同実施の今後の役割」

パネルディスカッションでは、研究部の報告とも絡め、共同学校事務室・共同実施の今後の役割について、取り組みを進めている自治体から4名のパネラーをお招きし、報告していただきました。

めざすべき方向性を見据えながら、「学校事務職員の職務の標準化を共同実施組織のなかでどう行っていくか」、「共同実施組織のなかでどのような研修を進めているか」、「共同実施組織を機能させるための役割分担をどのように行っているか」等について、各自治体の取り組みを詳しくご報告いただきながら、議論が進められました。風岡様からも、グッドプラクティスを府内で共有していくこと、また人材育成を進めていくことなどについてご助言いただきました。



↑パネラーのみなさま(左から)
豊中市共同実施支援室 主幹 福田康宏様
(豊中市立南桜塚小学校内)
摂津市立鳥飼西小学校 主幹 中島みゆき様
八尾市立南高安小学校 主幹 高木紀明様
泉佐野市立第二小学校 主幹 笹野一徳様



←(左)コーディネーター 研究部長 花井麻理
(右)アドバイザー 愛知教育大学教育学部教授 風岡治様



学校教育法の改正や共同学校事務室の法制化など変わりゆく時代のなかで、学校事務職員に求められていることは何なのか。どうすれば良いのか。

学校組織マネジメントへの関わり方、社会に開かれた教育課程を実現するための具体的な方策、人材育成の方針等さまざまな観点から具体的にお話しいただき、共同学校事務室の設置による学校経営参画をめざした取組事例もお示しいただきました。

また、研究会活動については縦・横・斜めの連携を生かし、今後も学びの場として発展させていくことの重要性をお話しいただきました。

④記念講演

「共同実施・共同学校事務室の取り組みと今後の研究会活動のあり方について」
愛知教育大学 教育学部 教育支援専門職養成課程
教育ガバナンス講座 教授 風岡治様



大会を終えて…

収録配信での府事研大会はいかがだったでしょうか？
府事研として初めての試みでもあり、撮影に試行錯誤しました。
至らない点多々あったかと思いますが、ご意見いただけますと幸いです。
今後とも大阪府公立学校事務研究会（府事研）をよろしくお願いたします！

